

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第1回吉川市障がい者の地域での生活を考える検討会議
開 催 日 時	令和4年7月28日(木) 午前・ 午後 3時00分から 午前・ 午後 4時30分まで
開 催 場 所	市民交流センターおあしす ミーティングルーム4
出席委員(者)氏名	星座委員、渡辺委員、亘委員、高橋委員、鈴木(平)委員、糸井委員、杉田委員、吉澤委員、金井委員、若山委員、塩入委員
欠席委員(者)氏名	岡田委員、古野委員、鈴木(俊)委員、明星委員
担当課職員職氏名	吉川市長 中原恵人 こども福祉部長 伴茂樹 こども福祉部障がい福祉課長 程田浩司 こども福祉部障がい福祉課障がい支援係長 薄田千枝子 こども福祉部障がい福祉課障がい支援係主任 大戸翔太
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 (1) 就労促進支援金の実績報告 (2) 吉川市障がい者グループホーム整備事業補助金について (3) ショートステイ(短期入所)整備への支援について (4) 今後の議題について 4 その他 5 閉 会 ※すべて公開
非公開の理由(会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	・次 第 ・委員一覧 ・資料1 就労促進支援金実績 ・資料2 グループホームの状況 ・資料3 当市の障がい福祉サービスの利用状況(令和4年6月1日現在) ・資料4 国・県、他自治体の補助金
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	杉田委員、金井委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	資料の確認 1. 開会 開会の宣言 2. あいさつ 中原市長 あいさつ 星座委員長 あいさつ 3. 議事 (1) 就労促進支援金の実績報告について 【関係資料】 資料1 就労促進支援金実績
事務局	(資料を基に説明)
市長	この会議で検討いただいた内容がこうしてスタートした。 この支援金を運用する中で、内容をもう少し変えたらいいのではないかと というご意見が出てくれば、また皆さんと検討して真に役立つものにし ていきたいと考えている。
委員	この制度ができたことによって、企業さんに説明しやすくなったと感じ ている。使いやすい事業で、ありがたいと感じている。
委員	当社は製造業で、10年以上まえから障がい者を雇用している。障が い者も健常者も組み立て等の作業は同じ品質で提供できていると感じて いる。家族の協力、本人のやる気、企業の努力があって障がい者の力が 発揮できる。障がい者同士で教えあうようになってきており、成長し ている。今後の課題としては、障がい者とその親の高齢化がある。この 会議でも話しているグループホームを含めて、我々も意識していかないと いけないと感じている。製造業の会社だからできている部分もあると は思うが、これから6次産業化も含めて我々が入って行って障がい者雇 用の取り組みができればよいと思う。
市長	商品の組み立ての話があったが、先日のボッチャ大会では塩入委員の 企業に協賛いただき、コーワプラスさんで作っているゲームを賞品とし て参加者に提供できた。 今回のボッチャ大会の中で、障がいのある方と企業の方が一緒に活動 している様子を見ることができた。このような機会も、就労のきっかけ として役に立つかもしれない。これからもっと多くの企業にも参加して もらいたい。そこで障がいへの理解を深めてもらい、障害者雇用のきっ かけづくりにもしたい。
委員	私が就職するときはこのような支援金はなかったので、このような制 度を利用できることはとてもよいことだと思う。実際に障がい者が就労 するときは、企業とのマッチングが難しい。このような支援金を活用す ることでマッチングしやすくなったのではと思う。

委員	<p>市民シンクタンクに参加し、農業をやられている方と話をした。農業の中には、障がいのある方が作業する場はあると。障がい福祉と農業で連携していけたらという話をさせてもらった。</p> <p>何人かでまずはやってみて、体力や環境などの条件を把握し、仕事を好きになる、そういう流れでやっていきたいと思いますと話をした。スモールステップで一つずつやっていくことが大切だと感じている。</p> <p>そのように進めていけば、活躍の場はたくさんあると思う。その実現に向けて、いろいろな産業の方と連携していけたらと感じた。</p>
市長	<p>この検討会議の委員の中には、すでにご自分の農業の中で障がい者の実習を受け入れ始めている。他の農業者でも、特別支援学校の実習受け入れをしているようだ。ぜひ、特別支援学校の先生方も、農業に興味のある生徒がいればご相談をいただき、就労支援金を活用しながらマッチングを支援していきたい。</p> <p>また、市民シンクタンクの中で印象的だったのが、農作業の中には農家さんがやりたがらない単純作業の連続ということもあり、そこに、単純作業に一点に集中していけるような特性をもった障がい者の方であれば活躍できるのではという話があった。そういうところにもマッチングしていけるのではと思う。</p>
委員	<p>実習を進めたいという気持ちはあるが、迷っている。A型の事業所に通っていると最低賃金はもらえるので、実習を受けるかA型で給料をもらうかで迷う人がいる。そこが課題と感じている。</p>
委員	<p>今の意見と同じになるが、やはり実習では1日千円しかもらえず、生活がかかっているような障がい者にとってはA型事業所で1日数時間働いた方が収入としては高くもらえるので、やはりネックとなっているように感じる。</p>
委員	<p>実習時間が長いと、よりその差は顕著に感じる。時間によって支援金の金額を増やしたりすれば、もう少し使いやすくなるのではないか。</p>
委員	<p>この制度が就労のきっかけになっているとは感じる。ありがたいことだと思う。</p>
市長	<p>この制度の不足している部分は、今後話し合いながら変えていく必要がある。しかし原資が限られているので、今後寄付を多く募り基金に積んでいくことも大切だと思う。そこの広報の仕方なども、皆さんの知恵を借りたい。</p>
事務局	<p>(2) 吉川市障がい者グループホーム整備事業補助金について 【関係資料】 資料2 グループホームの状況</p> <p>(資料を基に説明)</p> <p>これまで委員の皆さんでグループホームの整備について話し合っ て進めてきたところではあるが、資料にあるように、市内でグループホームの整備が進んできていることや県が新たな補助金制度を設けたことなど</p>

<p>委員</p>	<p>の状況を踏まえて、グループホームに対する補助金についてはいったん保留とさせていただきたい。</p> <p>確かに新しくグループホームは増えてきていて、今後も増えるだろうという状況はわかる。</p> <p>グループホームに入りたいという相談は多い。今後も補助があろうがなかろうが増えていくだろうと思う。問題は、重度の障がいのある方を受け入れられるかどうかだと感じている。重度障がい者を受け入れる施設を作る（改修する）ためには、県の補助金ではあまりにも足りない。空き家の活用という部分も、非常に使いづらいと個人的には感じている。</p> <p>吉川市としても、重度障がい者を受け入れられるグループホームの必要性は課題として残っていると思う。</p>
<p>市長</p>	<p>もう少し様子を見て、なぜ県の補助金が思ったより応募が少なかったか理由を精査する。また、今委員長がおっしゃった重度の障がい者を受け入れることができるグループホームを作るには、どうやれば可能か、その必要性を含めて今後検討していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>親亡き後に対する保護者の不安はすごく強くなっている。重度障がいの方が利用できるグループホームは重要であると思う。</p> <p>(3) ショートステイ（短期入所）整備への支援について 【関係資料】 資料3 当市の障がい福祉サービスの利用状況 資料4 国・県、他自治体の補助金</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料を基に説明)</p> <p>資料にある通りショートステイ利用のニーズは増えており、事務局としてもその必要性は感じているところである。皆様のご意見をいただきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>整理すると、第1期のメンバーがまとめてくれた提言書にある①就労支援②グループホーム支援については、一定の体制づくりができた。③ショートステイに対する具体的な検討ができていないので、今回頭出しをしているという状況。</p> <p>そこで、やはり市内でのショートステイに対する必要性は高い。そのためには、運営する法人や施設・設備が必要で、すべてを運営法人が賄うのは難しい。</p>
<p>委員</p>	<p>だいたい社会福祉法人等の民間法人が運営していることが多い。グループホームに併設している。国の補助等を活用してグループホームを作ろうとすると、おそらくショートステイも併設しないと認可は下りないのではないかと。もしくは、療養介護等の入所施設にはショートステイを併設していることが多い。</p> <p>緊急時は、あちこちに電話して空いているところを探す。</p>
<p>市長</p>	<p>一人の利用者に対して一人のケアの専門知識を持ったスタッフがいれば</p>

	<p>ばよいのか。</p>
委員	<p>施設による。医療的ケアが必要な利用者に対しては、当然そういう体制を整えている施設でないと難しい。</p>
市長	<p>どこかの1室を押さえていつでも使えるようにしておいて、ショートステイを使いたいという方がいたら、その人をケアできるスタッフを招いてその部屋で一緒に過ごしてもらうというミニマムな体制は難しいのか。</p>
委員	<p>スタッフの確保が難しいのではないか。やはりグループホームなどに併設というやり方が最も運営しやすいし、スタンダードである。 だいたい多いのは、グループホームの定員6でショートステイの定員が2という施設である。</p>
市長	<p>そうすると、ショートステイの支援をしようと思うと、やはりグループホームの誘致という話になるのか。</p>
委員	<p>ショートステイ単独でやっている事業所もある。ただし、常にショートステイの利用者がいるという状況でないと経営ができないので、難しいとは思う。</p>
事務局	<p>ショートステイのニーズは、前回のアンケートからもかなり高いことがわかるし、利用実績も上がってきている。利用者の家族からは送迎にあまり時間をかけずに、できるだけ近くで過ごさせてあげたいという声がある。 また、とにかく急に利用が必要という話が多く、空きを探すのが大変である。できれば使い勝手のいい施設があってほしいというのが利用者の願いである。 国・県の補助金を活用するにしても、制約があったりする。また、他自治体での支援施策も資料で紹介したが、吉川市の場合は寄付が原資であるためなかなか他市のような大規模な支援は難しい。ただ、少しでも背中を押せるような支援ができれば役に立てるのではないかと考えているところである。</p>
市長	<p>確かに他市の事例では、吉川市と比べると自治体の規模がかなり大きい。だからこの規模の補助を単独でやれているように感じる。 ただ例えば、市が持っている土地や建物等を活用してもらうというような可能性も考えられる。引き続き皆さんで検討していきたい。</p>
委員	<p>グループホームよりもショートステイの方が先に必要かなとも感じている。在宅で過ごしている障がいをもつ子どもがいると、親に何かあったときにすぐに預けられるショートステイ施設が市内にあるとありがたい。</p>
	<p>(3) 今後の議題について</p>
事務局	<p>今年度はもう1度秋ごろに次回の会議を開催する予定。そこまでに、</p>

事務局	<p>今回の第2期の会議で話し合ってきたことを報告書のたたき台としてまとめ、事前に委員の皆さんに配布し、次回の会議の中で報告書に対してご意見をいただき、最終的にまとめていきたい。それでこの第2期の会議は一区切りとして、また第3期に向けて動き出したい。ショートステイについては、細かい支援策の中身まではなかなか次の会議の中ではまとめられないと思うので、大きな方針・考え方などを報告書に盛り込めればと考えている。</p> <p>第3期については、今のところ事務局の考えとしては、今まで就労支援についてさまざまな動きが出てきて、寄付も増えてきている。そのような状況なので、就労支援についてももう少し掘り下げ、いろいろな方にメンバーになってもらい検討を深めたいと考えている。</p> <p>4. その他</p> <p>先ほどの話の再確認となるが、次回の会議は10月頃の開催を予定している。決まり次第通知する。また、その会議の前に今までの会議の内容をまとめた報告書のたたき台を作り、委員の皆さんに送付し、あらかじめご意見を頂戴したいと考えている。</p> <p>5. 閉会</p> <p>閉会の宣言</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和4年9月26日</p> <p>署名委員 杉田 聡（自署） 署名委員 金井 玲（自署）</p>	